

事務事業名		市道道路改良事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	道路建設係	担当課長名	青木 茂良	
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 生活道路の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11064	一般	8	2	3	市道道路改良事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	17年度～ 年度		根拠法令 条例等	道路構造令		実施方法		一部委託	
	事業区分		実施方法		事業分類		施設等整備事業		該当なし		
	事業区分		リーディングプロジェクト		市長マニフェスト		該当なし		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
市道の改良、側溝、舗装の整備を実施することにより、生活基盤及び生活環境の向上を図る。 1.道路改良工事 (事業説明会、測量、用地取得、工事施工) 2.道路側溝工事 3.道路舗装工事			1.道路改良工事 9 件 L= 1,332.7 m 2.道路側溝工事 1 件 L= 78.9 m 3.道路舗装工事 2 件 L= 134.4 m 4.測量設計調査等業務委託 15件 5.電柱等移転補償 1 式								
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			改良工事延長	m	800	1,333	840	1,500	1,500		
			側溝工事延長	m	382	79	520	1,000	1,000		
			舗装工事延長	m	821	134	250	500	500		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
1.改良要望箇所 2.側溝要望箇所 3.舗装要望箇所 未完了要望箇所数は平成26年度末現在で187箇所			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			改良要望箇所	箇所	4	5	4	6	6		
			側溝要望箇所	箇所	3	5	2	4	4		
			舗装要望箇所	箇所	1	1	1	2	2		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
目的			付近住民の利便性の向上と安全に利用できる道路に整備する。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					改良工事完了箇所	箇所	3	3	3	4	4
					側溝工事完了箇所	箇所	2	0	3	3	3
					舗装工事完了箇所	箇所	1	1	1	1	1
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
住環境に最低限必要な機能と安全性を確保するため、道路の整備を推進する。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			一般市道の改良率		%	57.4	57.5	57.5	57.6	57.7	
			一般市道の舗装率		%	72.8	72.8	72.7	72.8	72.9	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)		
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投入量	国庫支出金	千円											
	県支出金	千円											
	地方債	千円											
	その他	千円											
	一般財源	千円	129,160		96,745		131,745		250,000		250,000		
	事業費計(A)	千円	129,160		96,745		131,745		250,000		250,000		
	事業費の内訳	千円	旅費	11	旅費	6	旅費	41	旅費	50	旅費	50	
			需要費	504	需要費	1,147	需要費	1,487	需要費	1,500	需要費	1,500	
			役務費	1,316	役務費	2,270	役務費	2,204	役務費	2,200	役務費	2,200	
			委託料	22,914	委託料	14,378	委託料	9,501	委託料	20,000	委託料	20,000	
使用料及び賃借料			187	使用料	1,158	使用料	1,104	使用料	1,200	使用料	1,200		
工事請負費			96,947	工事費	72,047	工事費	110,350	工事費	217,500	工事費	217,500		
負担金			107	負担金	0	負担金	50	負担金	50	負担金	50		
補償金、公課費			7,174	補償金、公課費	5,739	補償金、公課費	7,008	補償金、公課費	7,500	補償金、公課費	7,500		
正規職員従事人数			人	6		5		5		6		6	
のべ業務時間			時間	8,500		8,500		8,500		9,000		9,000	
人件費計(B)	千円	33,074		33,499		33,499		35,469		35,469			
トータルコスト(A)+(B)	千円	162,234		130,244		165,244		285,469		285,469			

事務事業名	市道道路改良事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	道路建設係
-------	----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	市民・議会・町会等からの陳情、要望により地域住民の交通の利便性、円滑化を図るために実施した。 道路管理をしていく上で必要な事業として開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	道路整備は市民生活の基盤を成すものであることから、市民の要望は極めて強く、その事業量は依然として膨大なものであり、各町会より市道の改良、側溝、舗装の整備要望が平成26年度末で187箇所ある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成26年度において各町会等より、11件の市道拡幅等の要望が寄せられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 市道(生活道路)の改良工事による、狭隘箇所の解消や、側溝工事を実施することにより路面排水不良箇所の解消を図ることにより、交通の利便性、安全性を高め、快適で質の高い住環境の向上につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 道路は不特定多数の人が利用するものであり、道路管理者である市が整備することは、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 市道道路改良事業計画書は市長、副市長及び行政職員が協議して箇所付けを行っているので、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 当事業において用地取得が出来なければ事業が休止してしまうため、関係者の協力が必要不可欠であり、説明会等では周知させている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 委託可能な業務については、既に外注していることから、これ以上の業務所要時間を短縮することは困難である。平成26年度より職員が6名から5名に1名減となったなかで事業を進めているのでこれ以上の削減は困難である。また、工事資材等に再生材を利用しておりコストの削減を図っている。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 道路は不特定多数の人が利用するものであり、受益者を特定できない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	各町会等から市道改良の要望が無くなれば終了する。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			